



体外診断用医薬品

*クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ
ヒストファイン SAB-PO(R)キット
グリア線維性酸性プロテイン(GFAP)

第一抗体

抗グリア線維性酸性プロテインポリクローナル抗体
(動物種：ウサギ)

包装： 50 テスト (6mL) Code： 422251

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

*■本品は、クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ ヒストファイン SAB-PO(R)キットの構成試薬 第一抗体である。

*■本品を使用する際は、ヒストファイン SAB-PO(R)キットの添付文書をよく読んで使用すること。

■特異性および抗原分布：ヒトグリア線維性酸性プロテイン(GFAP)と反応する。中枢神経系ではアストロサイトおよび一部の上皮細胞と、末梢神経系でシュワン細胞や腸のグリア細胞と反応する。

■製法：ウシ脊髄から精製したグリア線維性プロテインを免疫したウサギ血清より精製し、免疫グロブリン分画を得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗グリア線維性酸性プロテインポリクローナル抗体 (動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に 6mL を含む。

**2. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を 2 滴(100 μ L)滴下し、常温(15-25 $^{\circ}$ C)で 30 分~1 時間インキュベートする。**

また、組織の固定条件等により 4 $^{\circ}$ C、一晩のインキュベートで良好な染色が得られる場合もある。

3. 貯法

2-8 $^{\circ}$ C保存。

4. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

5. 主要文献

(1) Dearmond, S. J. et al: Pathol Res Proct 168: 374, 1980

(2) Velasco, M. E. et al: Cancer 45: 484, 1980

(3) Bonnin, J. M. et al: Acta Neuropathol 62: 185, 1984

(4) Viale, et al: Arch A Pathol Anat 418: 339, 1991